大正八年三月第二十回卒業生　（十八人）　（成績順）

小瀬一郎（東京）　菊澤幸夫（東京）　田中一朗（群馬）
清水元助（大阪）　村岡敦實（佐賀）　志摩喜一（長野）
杉　武夫（栃木）　西田長康（鳥取）　安原金男（山形）
鈴木友三（茨城）　飛永賢三（新潟）　麻喜正吾（宮城）
直川孝二郎（和歌山）　市川健太郎（長野）　高橋郁治（千葉）
川村幸雄（東京）　宮川一齋（神奈川）　町田萬二郎（長野）

選科修了生　（一人）

鹿島武任（大分）

蒙古語學科

大正三年三月第一回卒業生　（三人）　（成績順）

菊竹實藏（福岡）　×佐々木一郎（秋田）　佐藤富江（福島）

大正六年三月第二回卒業生　（七人）　（成績順）

三原増水（福岡）　鶴田米明（神奈川）　及川三男（宮城）
齋藤藤作（新潟）　三森七郎（福島）　佐々木孝三郎（宮城）
大島清（佐賀）

大正八年第三回卒業生　（九人）　（成績順）

松本軍三（栃木）　田口賀（佐賀）　野口秋利（長崎）
五百木元（愛媛）　上野一郎（岡山）　金久一惠（徳島）
佐藤德三郎（東京）　渡邊賢治（神奈川）　粟原悅司（群馬）

暹羅語學科

大正三年三月第一回卒業生　（四人）　（成績順）

大河　薫（京都）　堀　亮一（和歌山）
服部繁松（靜岡）　池田林儀（秋田）

大正五年三月第二回卒業生　（四人）　（成績順）

佐藤致孝（東京）　小倉　直（鹿兒島）
鈴木清光（埼玉）　石神正寶（東京）

馬來語學科

大正三年三月第一回卒業生　（十人）　（成績順）

望月五一（山梨）　×守田茂人（福岡）　鳥山孝一（山形）
岡村　治（靜岡）　×末廣義男（岡山）　別所直尋（宮城）
高松正章（東京）　寺町文男（東京）
鈴木一夫（東京）　岡田丈夫（神奈川）

大正五年三月第二回卒業生　（五人）　（成績順）

上原訓藏（熊本）　日夏雅一（東京）　永田源三郎（福岡）
高田成義（石川）　越智　有（愛媛）

大正七年三月第三回卒業生　（十人）　（成績順）

齋藤榮三郎（新潟）　小笠原牧四郎（福井）　原　朝義（山梨）
土屋　擴（長野）　篠原　弘（北海道）　小菅擴治（東京）
篠田昌忠（愛知）　薗田顯家（山形）
宮本純孝（石川）　竹内三郎（東京）

ヒンドスタニー語學科

大正三年三月第一回卒業生　（四人）　（成績順）

戸谷貞雄（東京）　池田辰夫（東京）
小川正（靜岡）　高橋灃（東京）

大正五年三月第二回卒業生　（五人）　（成績順）

横地憲和（靜岡）　安藤芳平（埼玉）　青木保次郎（東京）
乾彥一（京都）　水口百龜（神奈川）

大正七年三月第三回卒業生　（五人）　（成績順）

高橋盛雄（廣島）　中山活宗（石川）　高瀨笹一（兵庫）
岡崎洋（島根）　佐々木道綱（三重）

朝鮮語學科　（舊稱韓語學科　明治四十四年一月改稱）

明治三十三年七月第一回卒業生　（三人）　（いろは順）

本田存（東京）　山口有信（愛知）　×重嶺一祐（山口）

明治三十四年七月第二回卒業生　（四人）　（いろは順）

西田禎一（大分）　江崎精一（愛知）
加藤勝之助（愛知）　天野雄之輔（滋賀）

明治三十五年七月第三回卒業生　（九人）　（いろは順）

伊東四郎（東京）　樫村武雄（茨城）　山本恒太郎（東京）
石崎資孝（栃木）　×多田謙三（長野）　秋吉英三（東京）
×小野雄志（岡山）　×國方章二（香川）　木下蕃（福井）

選科修了生　（一人）

上田順一郎（京都）

明治三十六年七月第四回卒業生　（一人）

藤戸計太（長崎）

明治三十七年七月第五回卒業生　（三人）　（いろは順）

本多寛三（福井）
河野小七郎（佐賀）
天谷操（東京）

明治三十八年二月第六回卒業生　（六人）　（いろは順）

堀江三郎（佐賀）
武間卓一（兵庫）
曲主馬（福岡）
天海良之（埼玉）
岸本德三郎（兵庫）
×末永健一（東京）

明治三十八年六月第六回卒業生　（二人）　（いろは順）

村上安造（東京）
近藤信一（千葉）

明治三十八年七月第六回卒業生　（二人）　（いろは順）

渡邊倉藏（福島）
島田慶三郎（東京）

選科修了生　（一人）

中島直吉（靜岡）

明治三十九年七月第七回卒業生　（十二人）　（いろは順）

×岩倉一（宮崎）
堀佐太郎（大阪）
遠山佑吉（東京）
岡崎進（高知）
和田喜一郎（京都）
玉木艮（山梨）
井手貞吉（福岡）
大久保清（靜岡）
松尾辰一（佐賀）
相川靈瑞（石川）
森山靜造（東京）
須永茂平（栃木）

選科修了生　（一人）

石橋義雄（神奈川）

明治四十年三月第八回卒業生　（十六人）　（いろは順）

市川安之進（三重）
加藤顯一（廣島）
龜山猛治（北海道）
鴨川清十郎（長崎）
高岡宣次（東京）
高木國則（茨城）
武原周之助（神奈川）
大和田矯（宮城）
松谷讓（佐賀）
間宮龍眞（島根）
萬田新太郎（東京）
×青山武男（群馬）
赤司勳一（佐賀）
齋藤助昇（山梨）
岸川直吉（佐賀）
杉浦齊（靜岡）

明治四十一年三月第九回卒業生　（十四人）　（いろは順）

岡田勝利（愛知）　栗田作四郎（靜岡）　木村善淳（三重）
小田切萬吉（廣島）　×功刀孝義（山梨）　三好六藏（香川）
横山英志（鹿兒島）　山田寛治（新潟）　芝崎路可（東京）
田川長次郎（長崎）　古内義（茨城）　關原二男（山形）
瀧山靖次郎（長崎）　北村薩雄（東京）

明治四十二年三月第十回卒業生（十人）（いろは順）

伊地知直七（鹿兒島）　猪俣富士雄（鹿兒島）　荒谷厚三（秋田）
西村洪治（大阪）　保田正昇（東京）　×淺香武夫（福岡）
岡田榮（廣島）　×松美己之吉（石川）
瀧口亮造（福岡）　藤井亥之助（大阪）

選科修了生（一人）

野澤寛一（新潟）

明治四十三年三月第十一回卒業生（二人）（いろは順）

西村眞太郎（兵庫）　依田貞美（東京）

明治四十四年三月第十二回卒業生（七人）（成績順）

山本外治（石川）　金子正潔（三重）　齋藤滋（東京）
奥山仙三（秋田）　黒澤小二郎（千葉）
寺田常治（茨城）　川浪淳平（佐賀）

明治四十五年三月第十三回卒業生（九人）（成績順）

田川忠信（島根）　津山辨一（大阪）　荻谷二郎（茨城）
小田毅（長崎）　佐藤德太郎（新潟）　村上耻己（長崎）
扇昌夫（長崎）　茂手木知貞（山梨）　淺野保之（東京）

大正二年三月第十四回卒業生（七人）（成績順）

×太中隆四郎（鳥取）　山田俊夫（山形）
清水兵三（島根）　福永市次（熊本）
水野昇（長崎）　二藤部行義（山形）　仁位豐（長崎）

大正三年三月第十五回卒業生（六人）（成績順）

上村宇多彌（東京）　小坂部瀧（新潟）　立山彦熊（鹿兒島）
木内忠雄（東京）　石井重次（福島）　山本正誠（茨城）

大正四年三月第十六回卒業生（六人）（成績順）

愛甲武雄（熊本）　塚田康（茨城）　小林文藏（宮城）

袴塚稔（茨城）　高橋阿久次郎（東京）　中川英一（茨城）

選科修了生（一人）

村山正夫（千葉）

大正六年三月第十七回卒業生（七人）（成績順）

鈴木伊佐男（福島）　筒井治明（高知）　長野達（東京）

上原保義（東京）　柴田秀雄（東京）

島田一郎（廣島）　川尻忠（秋田）

大正七年三月第十八回卒業生（四人）（成績順）

大竹晴雄（福島）　藤松常三郎（佐賀）

油下恭之助（茨城）　武藤俊（茨城）

本科卒業生職業別（七月三十日調）

職業等／語學科	教育					官廳				實業			修學
	專門學校	陸海軍諸學校	中學校	實業學校	其他ノ學校又ハ講習所	內國官廳	大使館公使館	領事館	總督府都督府	會社	商店	自家營業	學
英	一〇	三	一三	四〇	五	三五	一	一		九四	四七	九	一〇
佛	一	六			三	五九	一	四	五	八八	三〇	一一	一二
獨	一六	九	四		六	六二	一	二	四	六四	三一	一五	一九
露	五	四		二	三	三〇	三	一三	五	一三二	三七	八	
伊	二					一一		三		一六	二	三	二
西	四				一	三	二	七	二	七五	一二	一三	三
支那	二	三	一	四	九	一八		三	一〇	一七六	三九	七	一
蒙古						一				一六			
暹羅						一				四		二	
馬來					一					一六	三	一	
印度										七	五		一
朝鮮	二				四	七		五	四三	二八	一	一一	
計	四三	二五	一八	四六	三二	二二六	八	三八	六九	七二五	二〇七	八〇	四八

本科卒生職業別

兵役	一	三	一	三		二	四			二			一六
死亡	三三	三三	三	二五	五	一四	二八	一		二		一一	一六三
雑	一六	五八	四〇	三七	二	二七	四三	一	一		一	一八	二五三
計	四三六	三〇三	二八五	三〇六	五五	一七五	三四八	一九	八	二五	一四	一三〇	三〇九四

陸海軍委託選科修了生（成績順）

英語學科

大正六年三月修了生（五人）

海軍大尉 尾崎主税（東京）
陸軍歩兵中尉 荒井榮之助（福島）
陸軍歩兵中尉 吉本萬壽藏（和歌山）
陸軍歩兵中尉 中川清（福岡）
陸軍二等主計 松村幌（和歌山）

大正七年三月修了生（四人）

陸軍工兵中尉 月館善吉（青森）
陸軍二等主計 江口盛一（愛知）
陸軍歩兵中尉 中村次喜藏（福岡）
陸軍砲兵中尉 木村鼎（島根）

大正八年三月修了生（四人）

陸軍砲兵中尉 鍋島陸郎（東京）
陸軍歩兵中尉 江本茂夫（徳島）
陸軍歩兵中尉 竹中英治（東京）
陸軍騎兵中尉 角田啓輔（千葉）

佛語學科

明治四十五年三月修了生（一人）

海軍大尉 櫻井繁（東京）

大正二年三月修了生（一人）

海軍主計少監 長田正義（長野）

大正六年三月修了生（三人）

陸軍步兵中尉飯村穣（茨城）―陸軍步兵大尉伴錦次（岡山）―陸軍步兵中尉上杉憲武（栃木）

大正七年三月修了生（三人）

陸軍步兵中尉平賀亨二（山形）―陸軍步兵中尉植木鎭夫（福岡）―陸軍步兵中尉朝比奈大樹（廣島）

大正八年三月修了生（四人）

陸軍砲兵中尉岡田實（鳥取）―陸軍步兵中尉長谷川彰一（福井）―陸軍步兵中尉檜田與三吉（石川）―陸軍砲兵中尉増山政雄（佐賀）

獨語學科

大正六年三月修了生（五人）

陸軍步兵中尉高岡貞（熊本）―陸軍砲兵中尉橋本宗吏（大阪）―陸軍步兵大尉安藤政保（福島）

陸軍步兵中尉羽生能敬（鹿兒島）―陸軍一等軍醫平井正就（東京）

大正七年三月修了生（四人）

陸軍步兵中尉鈴木春松（神奈川）―陸軍步兵中尉上村幹男（山口）―陸軍砲兵中尉本間德治（山形）―陸軍步兵中尉遠山登（神奈川）

大正八年三月修了生（四人）

陸軍步兵中尉岩崎清海（東京）―陸軍步兵中尉沖野賢太郎（愛媛）―陸軍步兵中尉税所基彥（鹿兒島）―陸軍步兵中尉佐古龍祐（山口）

露語學科

明治四十四年三月修了生（一人）

海軍大佐岩田秀雄（東京）

大正六年三月修了生（四人）

陸軍步兵中尉山口一郎（青森）―陸軍步兵中尉飯村輔夫（東京）―陸軍步兵中尉安江仙弘（長野）―陸軍步兵大尉越川省吾（千葉）

大正七年三月修了生（三人）

陸軍工兵中尉須田忠（山梨）―陸軍步兵中尉堀江一正（東京）―陸軍步兵中尉石塚喜助（埼玉）

大正八年三月修了生（一人）

陸軍步兵中尉横田次郎（福島）

西語學科

大正七年三月修了生（一人）

陸軍步兵大尉藤谷覺三郎（滋賀）

支那語學科

明治四十四年三月修了生（一人）

海軍少佐菊地豐吉（福島）

大正六年三月修了生（五人）

海軍大主計林復一（和歌山）―陸軍步兵中尉堀井富太郎（兵庫）―陸軍步兵大尉土田倭太郎（廣島）

陸軍一等主計金光卓爾（岡山）―陸軍步兵中尉小西康熙（香川）

大正七年三月修了生　（五人）

陸軍步兵大尉　田所定右衞門（和歌山）
陸軍步兵大尉　渦川正義（和歌山）
陸軍步兵中尉　下永憲次（熊本）
陸軍步兵中尉　島田一（東京）
陸軍步兵中尉　松本敏三（兵庫）

大正八年三月修了生　（五人）

陸軍步兵中尉　本池政敏（鳥取）
陸軍步兵中尉　廣瀨善三郎（愛媛）
陸軍步兵中尉　織田昌一（山口）
陸軍步兵中尉　直田久太郎（兵庫）
陸軍二等主計　土正雄（岡山）

蒙古語學科

大正六年三月修了生　（一人）

陸軍步兵大尉　鈴江萬太郎（德島）

大正八年三月修了生　（一人）

陸軍步兵中尉　宮本德一（愛媛）

朝鮮語學科

明治四十四年三月修了生　（一人）

海軍主計中監　木下國明（長野）

陸海軍委託選科第二學年修業生　（成績順）

英語學科

大正三年三月修業生　（二人）

海軍少佐　鈴木秀次（愛媛）
海軍大佐　三宅大太郎（東京）

大正四年三月修業生　（二人）

海軍大尉　中村寛（廣島）
海軍少佐　野口厚（山口）

大正七年三月修業生　（一人）

海軍大尉　三好七郎（三重）

佛語學科

明治四十四年三月修業生　（一人）

海軍機關少佐　小野德三郎（三重）

明治四十五年三月修業生　（一人）

海軍少佐　洪泰夫（福岡）

大正二年三月修業生　（二人）

海軍少佐　安富正造（神奈川）
海軍少佐　松宮龍太郎（東京）

大正三年三月修業生　（一人）

海軍少佐 鵜野正方（熊本）

大正四年三月修業生　（二人）

海軍大尉 峰谷信太郎（岡山）　海軍少佐 石原北夫（東京）

大正五年三月修業生　（三人）

海軍大尉 飯倉克巳（大分）　海軍大尉 松平忠壽（東京）　海軍機關大尉 鈴木巳子（東京）

大正六年三月修業生　（三人）

海軍大尉 山村實（大分）　海軍大尉 井澤徹（山口）　海軍機關大尉 佐藤桂助（秋田）

大正七年三月修業生　（二人）

海軍機關大尉 永江晉（東京）　海軍大主計 小林不二（東京）

大正八年三月修業生　（一人）

海軍大尉 山田敏世（長崎）

獨語學科

明治四十四年三月修業生　（四人）

海軍少佐 井上繁則（香川）　海軍機關少佐 赤堀研吉（兵庫）　海軍中佐 井出光輝（廣島）　海軍少佐 上村從義（東京）

明治四十五年三月修業生　（二人）

海軍機關少佐 山中政之（神奈川）　海軍主計少監 梶川清美（東京）

大正二年三月修業生　（二人）

海軍少佐 伊藤彰五郎（千葉）　海軍機關少佐 角田常治郎（千葉）

大正三年三月修業生　（四人）

海軍主計少監 二村光三（福島）　海軍少佐 服部豐彦（和歌山）　×海軍主計少監 細井正治（東京）　海軍中佐 木村豐樹（東京）

大正五年三月修業生　（二人）

海軍大尉 野原伸治（山口）　海軍大尉 佐久間敬太郎（和歌山）

大正六年三月修業生　（二人）

海軍少佐 久保忠道（鳥取）　海軍機關大尉 渡邊陸一（岡山）

大正七年三月修業生　（五人）

海軍中尉 吉用茂雄（大分）　海軍大尉 細谷義男（東京）　海軍機關大尉 江坂德藏（新潟）

海軍中尉 鎌田道章（愛媛）　海軍少佐 松本一郎（福島）

大正八年三月修業生　（三人）

海軍主計中佐 佐野嘉末（三重）　海軍機關中尉 久保敬二（香川）　海軍機關大尉 赤坂卯之助（大阪）

露語學科

明治四十五年三月修業生　（一人）

海軍大尉 眞崎勝次（鹿兒島）

大正二年三月修業生（二人）

海軍少佐 內藤省一（東京）——海軍大尉 三宅毅五（兵庫）

大正四年三月修業生（二人）

海軍大尉 中島喜代宣（茨城）——海軍少佐 池中健一（千葉）

大正五年三月修業生（二人）

海軍大尉 蒲生武司（宮城）——海軍大尉 我妻準二（山口）

大正七年三月修業生（一人）

海軍中尉 阪本敏（埼玉）

伊語學科

明治四十四年三月修業生（一人）

海軍中佐 加賀藤吾（佐賀）

明治四十五年三月修業生（一人）

海軍機關少佐 田中謙治（福岡）

大正七年三月修業生（一人）

海軍步兵中尉 多田德久（山口）

西語學科

明治四十四年三月修業生（一人）

海軍少佐 友貞俊太郎（山口）

大正二年三月修業生（一人）

海軍大尉 池田敬之助（東京）

大正五年三月修業生（二人）

海軍大尉 江頭貞三（佐賀）——海軍大尉 橫山馨（東京）

大正六年三月修業生（一人）

海軍大尉 竹下志計理（島根）

支那語學科

大正二年三月修業生（二人）

海軍大尉 菅沼恕人（愛知）——海軍主計少監 花井申（埼玉）

大正三年三月修業生　（四人）

海軍大尉　久保田久晴（東京）―海軍少佐　伊藤完（三重）―海軍少佐　杉坂悌二郎（富山）―海軍大尉　柴田源一（愛媛）

大正四年三月修業生　（一人）

海軍少佐　梅田三良（東京）

大正六年三月修業生　（一人）

海軍大尉　土居政道（高知）―海軍大尉　酒井武雄（長崎）

大正七年三月修業生　（三人）

海軍大尉　土本俊一（愛知）―海軍大尉　宇田川英庸（神奈川）―海軍大尉　野村經德（兵庫）

大正八年三月修業生　（一人）

海軍大尉　尾崎剛（千葉）―海軍少尉　猪瀨乙彥（福島）

蒙古語學科

大正七年三月修業生　（二人）

陸軍步兵中尉　松田光作（山口）―陸軍輜重兵中尉　石原保男（岡山）

馬來語學科

明治四十五年三月修業生　（一人）

海軍少佐　森田三郎（東京）

大正二年三月修業生　（一人）

海軍大尉　井上眞吾（廣島）

大正六年三月修業生　（一人）

海軍大尉　柴田善治郎（愛媛）

別科（後專修科ト改稱ス）修了生

英語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生　（十二人）　（いろは順）

岡田明遠（愛知）　浦壁長富（東京）　黒川善一（東京）　小山市太郎（東京）
高橋行次（滋賀）　野一色千七郎（靜岡）　黒田茂次郎（長崎）　小山英吾（東京）
岡田辰三郎（東京）　大西成太（香川）　松下專吉（靜岡）　三宅貞齋（東京）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（六人）　（いろは順）

島越盛（佐賀）　田中虎雄（埼玉）　大高隼太郎（東京）
高比良勝二（長崎）　中川源三郎（京都）　的場悌（和歌山）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（五人）　（いろは順）

錦織房之助（宮城）　久保清太郎（德島）　枝正八（茨城）
香川敦太郎（愛媛）　松井英一郎（岐阜）

明治三十五年七月第四回別科修了生　（十六人）　（いろは順）

伊東献審（福島）　加賀川市松（兵庫）　内藤明延（東京）　山中實次郎（滋賀）
西村惠次郎（滋賀）　與謝野修（京都）　野田爲太郎（鳥取）　山崎正身（高知）
星野鏡造（東京）　多羅間政輔（山口）　野本彌生八（和歌山）　古谷識之助（東京）

秋山運四郎（宮城）　君塚一（東京）　宮定平（廣島）　鈴木孫太郎（靜岡）

明治三十六年七月第五回別科修了生　（十九人）　（いろは順）

石川功（廣島）　吉福奥四郎（長崎）　山形龜次郎（東京）　後藤敬三（東京）
蜂屋三千三（東京）　谷氷輔（福島）　山中榮藏（山口）　秋月源太郎（靜岡）
小川松輔（宮城）　内山秋太郎（靜岡）　松井億太郎（茨城）　三浦秀二（長崎）
片山喜十郎（京都）　大村足彦（東京）　小泉有道（石川）　森美文（東京）
金子助次郎（長崎）　倉橋軍治（宮城）　小出鑑次郎（東京）

明治三十七年七月第六回別科修了生　（十二人）　（いろは順）

坂垣昌助（靜岡）　堀重幸（東京）　高橋靜雄（東京）　眞下利郎（群馬）
原庄藏（靜岡）　小笠原靜也（東京）　村形英次郎（東京）　宮越侹太郎（新潟）
林善一（東京）　加藤利雄（東京）　太田喜次郎（京都）　四戸友太郎（岩手）

明治三十八年七月第七回專修科（別科改稱）修了生　（十九人）　（いろは順）

犬伏節輔（德島）　小野千代太（廣島）　多田作治郎（福岡）　中野一三（香川）
今井靜治（新潟）　荻野由次郎（埼玉）　鵜見高（千葉）　内田鎌司（神奈川）
牟田虎雄（東京）　和田政治（新潟）　長岡喜一（山口）　安福勝美（岐阜）
西原修三（東京）　河村竹三郎（岐阜）　中村三男吉（東京）　是永均（大分）
岡本稻輔（神奈川）　糟谷武城（鳥取）　永井彌彦（茨城）

明治三十九年七月第八回專修科修了生　（二十四人）　（いろは順）

伊東要之輔（知愛）
服部鐵三郎（神奈川）
荻島四三二（東京）
山内朝吉（福岡）
伊藤充男（岐阜）
林臻原（大分）
尾島林之助（神奈川）
安藤兎毛喜（長崎）
伊藤昭吉（香川）
西村稠（島根）
渡邊豐一（廣島）
齋藤實（東京）
伊矢野豐三郎（栃木）
富永正清（長崎）
川口眞清（新潟）
芝茂義（福岡）
石塚久雄（新潟）
千葉茂（岩手）
植田稔（東京）
森田甫（兵庫）
服部連三（福島）
小澤政行（東京）
釘宮極（大分）
住野良三（奈良）

明治四十年三月第九回専修科修了生　（二十二人）　（いろは順）

岡田鈞（東京）
中山彌市（栃木）
藤巻清（東京）
木村説二（兵庫）
小笠原安太郎（和歌山）
氏江富藏（山形）
雙川喜一（東京）
水野藩三（東京）
川原井左司馬（茨城）
大津茂（東京）
舟越升太（大分）
嶺岸久治（宮城）
川崎廉吾（佐賀）
藏口淺次郎（富山）
青木秀太郎（滋賀）
城親政（栃木）
芳野春吉（愛媛）
久米豐作（埼玉）
淺石晴香（青森）
露口浩治（大阪）
丸山嚴淨（長野）
筵森章一（青森）

明治四十一年三月第十回専修科修了生　（十四人）　（いろは順）

原忠道（東京）
河村正（東京）
小林嘉良（山梨）
三原裕（大分）
西本瀧藏（廣島）
高倉俊政（富山）
寺田祐男（長野）
鹽川八男（香川）
星野勝藏（東京）
玉田耕二（兵庫）
天草三郎（東京）
島羽順二（東京）
山田寛治（新潟）
木村善淳（三重）

明治四十二年三月第十一回専修科修了生　（二十二人）　（いろは順）

市原文治（徳島）
田内定治（愛知）
中島濱三郎（栃木）
坂本鼎三（静岡）
石田晉太郎（東京）
津村俊雄（和歌山）
村越清太郎（東京）
崎田清一（東京）
石井己代吉（東京）
津山𢷋一（大阪）
太田清三郎（岡山）
廣川善一（東京）
渡邊裕（東京）
辻芳哉（福岡）
前田元四郎（青森）
菅原菊治（宮城）
金原利雄（千葉）
根本敬三（東京）
小林信一（東京）
金田爾郎（鳥取）
中村盛司（千葉）
小西好二郎（奈良）

明治四十三年三月第十二回専修科修了生　（十九人）　（いろは順）

俵護五郎（茨城）
村井巳年（大分）
榎本秋次郎（東京）
菊田熊太郎（東京）
高橋隆司（千葉）
野村於菟三（奈良）
天津莊一（東京）
土方井三（東京）
田中鐵之助（東京）
大岩峯吉（東京）
坂本貞道（東京）
平野長太郎（愛知）
田崎安榮（東京）
熊谷六郎（岐阜）
櫻井宗吉（東京）
檜山兼次郎（茨城）
角田不二雄（東京）
八百顯龍（石川）
木下末雄（佐賀）

明治四十四年三月第十三回専修科修了生　（二十七人）　（成績順）

赤羽右（長野）
古市哲（千葉）
柴山啓一郎（茨城）
小山體二（岡山）
近藤保業（兵庫）
古田吉五郎（大阪）
大西竹松（奈良）
吉川男也（山形）
三藤治三郎（三重）
土屋岐蘇生（長野）
江川種太郎（長崎）
吉田壽三郎（熊本）
深江彦一（大阪）
竹澤正武（長野）
福崎節衞（東京）
後藤基固（滋賀）
吉野正夫（千葉）
中川宗太郎（大阪）
大久保鼎造（東京）
吉田國松（北海道）
猪瀨久三（茨城）
藤澤出來造（東京）
小林哲之助（新潟）
岩崎勝平（東京）

齋藤政一（埼玉）	伊藤憲三（東京）	工藤潤次郎（長野）	

明治四十五年三月第十四回專修科修了生　（三十二人）　（成績順）

澁谷重武（東京）	早川義治（東京）	佐藤瀧男（廣島）	榎本健次（東京）
木田利暢（島根）	高須岩代（東京）	能勢勝夫（岡山）	正田德太郎（廣島）
桐生肇次（新潟）	森本憲章（東京）	小笠原德兵衞（岩手）	入江新吉（東京）
高江幸彥（大分）	邊見由太郎（東京）	木村久七郎（群馬）	山本鶴松（靜岡）
大川福松（茨城）	藤岡健藏（富山）	中川轍夫（京都）	鈴木孝助（神奈川）
間宮孝（靜岡）	豐島旭（茨城）	飯島英次（東京）	佐々木英夫（埼玉）
佐野喜三郎（東京）	曾我順雄（神奈川）	土井敬一（和歌山）	瀧村信男（愛知）
三谷錦太郎（東京）	村上喜平（福島）	岸田舜道（滋賀）	伊坂賢二（德島）

大正二年三月第十五回專修科修了生　（十九人）　（成績順）

井出德夫（長野）	關德平（神奈川）	一ノ瀨敏（千葉）	空閑重峰（佐賀）
高宮岩夫（千葉）	太田丈太郎（大阪）	名和順秀（東京）	秋山敏長（東京）
高松鶴吉（千葉）	伊藤健（福井）	稗田準一（福岡）	櫻井忠之介（茨城）
若松盛之助（東京）	井上信善（茨城）	神崎友吉（栃木）	小宮仙吉（東京）
上野一良（東京）	望月世教（東京）	市川宣（靜岡）	

大正三年三月第十六回專修科修了生　（十五人）　（成績順）

堀江幸太郎（兵庫）	望月五一（山形）	大岩儀助（北海道）	金子正吾（長野）

服部繁松（靜岡）	眞宮幸之助（京都）	伊藤薰（群馬）	根本常次（茨城）
宮下時太郎（千葉）	大庭榮藏（東京）	廣瀨貞平（岐阜）	墨野貳（東京）
藤野憲夫（靜岡）	石丸充（大分）	種田謙二（岐阜）	

大正四年三月第十七回專修科修了生　（九人）　（成績順）

片岡悌三（東京）	大塚彪雄（千葉）	內藤健司（愛知）
高井末彥（島根）	高橋貞作（神奈川）	西川逵三郎（群馬）
內海三八郎（神奈川）	白井眞策（兵庫）	皆崎義顯（廣島）

大正五年三月第十八回專修科修了生　（十一人）　（成績順）

弓削孝之助（東京）	山內與一（東京）	內藤助治（宮城）	村上喜久治（新潟）
伊藤恒（千葉）	田邊定義（鳥取）	手島三千三（東京）	宮崎英次（奈良）
伊藤兼四郎（東京）	增村勝（埼玉）	乾彥一（京都）	

大正六年三月第十九回專修科修了生　（十四人）　（成績順）

山村喬（福井）	安積千勝（高知）	村田眞多男（東京）	森山正義（島根）
都築茂（鹿兒島）	山本榮助（岡山）	杉本連治（愛知）	加藤圓三郎（愛知）
中島鐵次（佐賀）	儀峨徹二（福井）	須藤忠（栃木）	
宮下壽（長野）	關矢恕一（新潟）	武藤廣（山梨）	

大正七年三月第二十回專修科修了生　（二十三人）　（成績順）

東野榮造（大分）	加藤喜太郎（東京）	安田健一（山梨）	金子庸之助（東京）

山崎茂樹（千葉）　廣浦政和（東京）　森又二（富山）　伊佐義基（熊本）
三上春美（東京）　田村浩（群馬）　宮川秀雄（東京）　油下恭之助（茨城）
大高喜一（東京）　峯岸喜一（福島）　白井由藏（栃木）　高野讓（山形）
長谷川謙（東京）　板橋秀雄（東京）　小島時久（栃木）　佐藤義和（静岡）
平澤茂（神奈川）　永田直武（鹿兒島）　大城戸仁輔（兵庫）

大正八年三月第二十一回專修科修了生　（二十六人）　（成績順）

熊澤福督（神奈川）　長澤榮作（静岡）　上田惠三（東京）　五十嵐藤助（山形）
延原好一（岡山）　櫻井義敎（群馬）　船越藤吉（東京）　春日喜三男（長野）
飛永賢三（東京）　菊島丙三（山梨）　大谷忠四郎（福島）　大崎範一（東京）
花村馨（廣島）　藤崎銑樹（高知）　高橋剛（福島）　池本静藏（京都）
佐藤德三郎（東京）　根岸眞三郎（埼玉）　柏木栞（兵庫）　鵜澤多吉（千葉）
知念昌永（沖繩）　橋本健之助（埼玉）　高松作治郎（千葉）
多田茂（富山）　二宮榮春（愛媛）　中島敏男（佐賀）

佛語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生　（九人）　（いろは順）

服部邦光（長崎）　金光泰（大分）　松原常次郎（東京）
新原俊秀（宮崎）　大野若三郎（神奈川）　宮城大太郎（千葉）
露山信順（石川）　山内健吉（岐阜）　鈴木彌次平（静岡）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（三人）　（いろは順）

神谷龍彦（愛知）　吉田六之助（千葉）　井出晳（東京）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（三人）　（いろは順）

德岡梅吉（鳥取）　上條辰藏（長野）　三戸・賴猷（山口）

明治三十五年七月第四回別科修了生　（十四人）　（いろは順）

高岩勘次郎（福岡）　寺島成信（山形）　齋藤久孝（兵庫）　白井傳三郎（長野）
田村保三（千葉）　阿部景毅（宮城）　佐藤純太郎（石川）　關次郎（長野）
岡田武松（千葉）　有吉秀太（山口）　三谷氏郎（香川）
山下安太郎（埼玉）　淺井義瞷（愛知）　鹿野岩次郎（石川）

明治三十六年七月第五回別科修了生　（八人）　（いろは順）

秦正雄（三重）　本間重策（新潟）　吉岡七郎（東京）　野田爲太郎（鳥取）

黒島定靜（高知）　前原準一郎（群馬）　松原制六（山口）　齋藤豐作（東京）

明治三十七年七月第六回別科修了生　（十人）　（いろは順）

石津利作（大阪）　寺澤鍵二（愛知）　生野圓六（大分）　菅谷龍平（東京）
吉原開（東京）　木村衡（新潟）　平澤均治（青森）
中村平吉（岩手）　宮崎圓治郎（長野）　日暮忠（東京）

明治三十八年七月第七回専修科（別科改稱）修了生　（六人）　（いろは順）

今道文一郎（長崎）　園部潜（三重）　崎山刀太郎（東京）
池上泰次郎（長野）　後藤清造（岩手）　宮林捨藏（新潟）

明治三十九年七月第八回専修科修了生　（八人）　（いろは順）

小野秀太郎（茨城）　田島道治（愛知）　太田喜二郎（京都）　福尾昇（島根）
梶田謙太郎（東京）　井上通夫（東京）　大關久五郎（青森）　鈴木行三（群馬）

明治四十年三月第九回専修科修了生　（五人）　（いろは順）

飯守勘一（佐賀）　渡邊劍之丞（埼玉）　中島濱三郎（栃木）
岡　實（奈良）　梶川義隆（東京）

明治四十一年三月第十回専修科修了生　（六人）　（いろは順）

市川節太郎（石川）　内崎豐一郎（宮城）　淺野良（茨城）
池田福松（大阪）　大島隆吉（岩手）　平田稔（和歌山）

明治四十二年三月第十一回専修科修了生　（四人）　（いろは順）

中山隆吉（滋賀）　奥山萬次郎（静岡）　山口篤郎（東京）　秋間愛一（群馬）

明治四十三年三月第十二回専修科修了生　（七人）　（いろは順）

河本新一（山口）　松本忠清（愛媛）　榎本明（福岡）　三隅禎三郎（山口）
藪篤麿（東京）　小林馨（廣島）　天野政太郎（東京）

明治四十四年三月第十三回専修科修了生　（六人）　（成績順）

宮村時一郎（東京）　原基一郎（静岡）　山脇義太郎（兵庫）
杉本伊作（静岡）　郡山嘉内（鹿兒島）　今井吉朗（神奈川）

明治四十五年三月第十四回専修科修了生　（七人）　（成績順）

加納道生（大分）　飯島徳次（埼玉）　富士徳治郎（奈良）　松井九郎（群馬）
赤羽右（長野）　杉本連治（愛知）　小泉良俊（東京）

大正二年三月第十五回専修科修了生　（四人）　（成績順）

島村榮之助（埼玉）　鈴木悦（愛知）　赤羽秀雄（福島）　植村家治（東京）

大正三年三月第十六回専修科修了生　（七人）　（成績順）

長松宗一（福岡）　岡本平（愛知）　福島兼馬（高知）　千葉市之亮（東京）
岩永勝典（長野）　土御門信復（京都）　山内贅（福井）

大正四年三月第十七回專修科修了生　（十人）　（成績順）

田中文勝（埼玉）	武田外希住（石川）	物部長穗（秋田）	山田又市（新潟）
牧　彦七（大分）	大久保彦藏（茨城）	入澤一郎（新潟）	
山田延壽（高知）	三雲金藏（東京）	寺田勢造（兵庫）	

大正五年三月第十八回專修科修了生　（十一人）　（成績順）

難波琢實（岡山）	阿部壽準（山口）	武井理三郎（群馬）	雨田外次郎（福井）
牛田廉次（東京）	伊東孝一（東京）	玉越太郎（東京）	桑原銀二（福井）
藤江惠輔（兵庫）	山本犀藏（兵庫）	川崎一郎（東京）	

大正六年三月第十九回專修科修了生　（十三人）　（成績順）

吉澤茂一（東京）	清岡博見（岩手）	田中稻三（群馬）	大谷忠四郎（福島）
色部　貢（長野）	岡部正一（兵庫）	加藤鈴三（愛知）	
今岡十一郎（島根）	米田　保（福岡）	岩崎民平（山口）	
中岡孫一郎（和歌山）	竹下政之助（東京）	佐藤大鑑（廣島）	

大正七年三月第二十回專修科修了生　（十人）　（成績順）

小林德三郎（大阪）	高橋好三（埼玉）	佐久間外二（石川）	卷島庄之助（茨城）
高橋三郎（福岡）	岡村千秋（長野）	山中樑次郎（東京）	
平田宗胤（東京）	神谷　勇（三重）	熊谷　武（兵庫）	

大正八年三月第二十一回專修科修了生　（十五人）　（成績順）

井上堅曹（愛媛）	塚本丈助（東京）	北爪益雄（埼玉）	兩角　潤（東京）
橋爪英夫（福岡）	丸毛信勝（大分）	豐原清雄（東京）	戶澤富壽（東京）
松坂佐一（愛知）	柴田勤次（新潟）	及川文吾（岩手）	河面繁松（廣島）
石田旭勝（東京）	宮本恒平（東京）	中牟田三治郎（福岡）	

獨語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生　（六人）　（いろは順）

田崎復（東京）	松岡定（熊本）	澤田銅義（神奈川）
中村平作（新潟）	幸田成友（東京）	宮田義敬（東京）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（九人）　（いろは順）

岩崎半次（茨城）	堀常次郎（岐阜）	歌原兼良（愛媛）
磯野清助（東京）	德永昌美（東京）	山田又市（新潟）
今福忍（神奈川）	中島松次郎（茨城）	杉山正治（東京）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（八人）　（いろは順）

川島庄一郎（和歌山）	片山外與作（東京）	乙竹岩造（三重）	酒井政吉（石川）
可兒德（岐阜）	上田長藏（京都）	福井久造（兵庫）	新海吉兵衞（長野）

明治三十五年七月第四回別科修了生　（十五人）　（いろは順）

伊藤弘一（千葉）	高橋鐙二（長野）	久保田敬一（兵庫）	平木安之助（福岡）
堀與三（三重）	中條道次郎（千葉）	工藤武城（熊本）	樋口兼治（東京）
折原吉之助（東京）	中柴鑅三郎（東京）	菊地房三郎（大分）	毛利祐吉（石川）
高橋祐治（大阪）	中島田人（北海道）	篠田良二（長野）	

明治三十六年七月第五回別科修了生　（十三人）　（いろは順）

伊東泰助（千葉）	合田壽治（東京）	黒住靜太（岡山）	毛利正義（東京）
伊東榮三郎（東京）	吉田喜三郎（茨城）	松崎故一郎（島根）	
石崎久吉（愛媛）	六笠弘躬（東京）	眞弓眞（愛知）	
小倉俊圓（山口）	大久保直記（長野）	平島直太郎（德島）	

明治三十七年七月第六回別科修了生　（十五人）　（いろは順）

石井畝雄（岡山）	井田豐太（群馬）	藤本幸太郎（三重）	森六藏（茨城）
豐田八十代（兵庫）	野々部本祐（東京）	澤山勇三郎（山口）	瀨下清（長野）
金田捨吉（宮崎）	大關久五郎（青森）	佐藤純之助（埼玉）	杉村信臣（東京）
田畑梅次郎（岡山）	山根靜智（島根）	坂田弘（千葉）	

明治三十八年七月第七回專修科（別科改稱）修了生　（十九人）　（いろは順）

伊藤一郎（東京）	川村丈吉（千葉）	野島和吉（東京）	渥美銳太郎（群馬）
石田龜吉（秋田）	河崎次雄（長崎）	葛岡陽吉（宮城）	相良賴綱（東京）
八田畝夫（福井）	河野義璋（東京）	矢崎習吉（兵庫）	平島權藏（東京）
岡田藤十郎（愛知）	田中親介（三重）	小鷹連平（埼玉）	鈴木衞平（靜岡）
小田部家賚（秋田）	中田榮太郎（東京）	小柳新吉（新潟）	

明治三十九年七月第八回專修科修了生　（十七人）　（いろは順）

岡田芳之介（茨城）　吉田令兒（兵庫）　高橋勝（島根）　高木清德（島根）　永田源一郎（茨城）
村形東之助（千葉）　梅山讓（群馬）　近藤耕藏（神奈川）　近藤茂吉（京都）　江川惣次（香川）
坂本寛次郎（靜岡）　黄川田茂藏（岩手）　湯川直砥（神奈川）　清水瀞（神奈川）　平山金作（愛知）
持田二郎（東京）　鈴木毅一（靜岡）

明治四十年三月第九回專修科修了生　（二十二人）　（いろは順）

伊藤金八（三重）　稻葉宇作（新潟）　長谷川市松（岡山）　堀田要三郎（三重）　本田稔介（山口）　尾崎錦太郎（岡山）
依田豐（長野）　馬上孝太郎（福島）　梅澤條五郎（東京）　海沼博（長野）　井浦義久（福岡）　奥村文平（岐阜）
倉石眞三（長野）　矢田鶴之助（島根）　山本鎭三郎（東京）　間中綱彥（東京）　藤井輝雄（東京）　福山一二（鹿兒島）
古賀平太（佐賀）　新井德次郎（埼玉）　佐藤襄（東京）　宮部勝之介（群馬）

明治四十一年三月第十回專修科修了生　（十三人）　（いろは順）

亘理繁（千葉）　渡邊次郎（東京）　神藏良一（新潟）　高野親雄（山形）
椿繁藏（千葉）　成松靜雄（熊本）　中曾根類造（群馬）　井上逢子（廣島）
柳澤秀吉（富山）　前田弘（高知）　小池欣藏（長野）　齋藤糸平（群馬）
水谷恭治（岐阜）

明治四十二年三月第十一回專修科修了生　（十人）　（いろは順）

飯海愼二（愛知）　八田清信（京都）　林祐次郎（愛知）
加藤輝光（埼玉）　高橋鈴彥（愛知）　角田孝次郎（新潟）
內記茂市（滋賀）　安武元十郎（福岡）　胡以晉（清國）
近藤只藏（東京）

明治四十三年三月第十二回專修科修了生　（十二人）　（いろは順）

板倉東海男（東京）　神谷衛平（東京）　高山鎌太郎（東京）
坪田熊雄（福井）　織田仙之助（東京）　松田重則（奈良）
富士德治郎（奈良）　荒井桂三（東京）　水田恭太郎（東京）
鹽澤直重（山梨）　篠原璐太郎（山梨）　下山田正純（秋田）

明治四十四年三月第十三回專修科修了生　（十四人）　（成績順）

周家彥（清國）　福田勝治（埼玉）　佐々木啓介（福井）　小坂榮次（新潟）
上原博聞（山梨）　竹島茂郎（三重）　山本孝太郎（和歌山）　小林正藏（東京）
沓掛斧次郎（長野）　宇津忠萬（東京）　安部藤治（大分）　安彥啓次郎（北海道）
馬場時藏（埼玉）　三好喜和（富山）

明治四十五年三月第十四回專修科修了生　（十八人）　（成績順）

村上瑚磨雄（岡山）　原田親雄（北海道）　水谷英保（東京）　石堂貞（鹿兒島）　渡邊義男（山梨）
松橋逢生（青森）　永山武美（北海道）　西岡定太郎（高知）　山田平七（京都）　村田辰三（靜岡）
島岡浩一郎（群馬）　氏家孝次郎（宮城）　伊藤清一（愛知）　前澤清助（長野）　田邊定吉（北海道）
郡岡良臣（東京）　庄司又三郎（宮城）　池田隆平（新潟）

大正二年三月第十五回專修科修了生（十二人）（成績順）

森　忠藏（東京）　武田外希往（石川）　松本照吉（高知）　鹽田與吉（群馬）
小寺　昌（京都）　濱田　章（埼玉）　小島德太郎（東京）　西本直民（東京）
石川　鼎（北海道）　山田嘉一（愛知）　曾我杢祐（岐阜）　濤淵兼次（東京）

大正三年三月第十六回專修科修了生（十七人）（成績順）

谷　喜一郎（東京）　白井龜吉（千葉）　鹿野　澄（鳥取）　小島仁作（大分）
横田千秋（兵庫）　大塚小郎（山形）　鹿兒島　茂（福岡）　細野角太（群馬）
大村淸一（岡山）　林　嘉保（長野）　岩田文吉（京都）
砂山角野（新潟）　小林來三（山口）　岩本民德（鳥取）
遠藤千之助（兵庫）　三條商太郎（東京）　相川直吉（群馬）

大正四年三月第十七回專修科修了生（十七人）（成績順）

西村　稠（島根）　下村宏次郎（佐賀）　加藤光三（東京）　角田濟彥（熊本）
猪俣津南雄（新潟）　井芹繼志（熊本）　古內熊太郎（宮城）　居合鈕一郎（長野）
增田　透（東京）　齋藤　修（岡山）　川村久治郎（福井）
北澤種一（長野）　谷田澤隆甫（靜岡）　桑田福太郎（廣島）
山田實平（靜岡）　松井壽次（愛知）　柴田孝一（東京）

大正五年三月第十八回專修科修了生（十五人）（成績順）

甲斐直喜（東京）　小室英夫（東京）　御園生嘉二（山口）　畑馬治郎（東京）
鈴木重春（東京）　鈴木習之（千葉）　松井佳一（山口）　熊谷　武（兵庫）
柳島鐵一（愛知）　武田淸三（大阪）　黑柳謙吉（岐阜）　鮫島近二（鹿兒島）
村上信三（大阪）　納　五平（兵庫）　外內　豐（千葉）

大正六年三月第十九回專修科修了生（十五人）（成績順）

山本鹿太郎（神奈川）　關　文圭（長野）　寺田正中（茨城）　金子從次（東京）
丸毛信勝（大分）　石川重吉（愛知）　齋藤保次（千葉）　眞宮幸之助（京都）
秋葉　隆（千葉）　湯淺次三郎（富山）　中山德治（福島）　河野嘉六（廣島）
西池正顯（福井）　岩崎　憲（北海道）　岡田彌一郎（東京）

大正七年三月第二十回專修科修了生（十人）（成績順）

池端　榮（靜岡）　阿部德三郎（北海道）　酒井光義（東京）　荒木榮次郎（廣島）
伊藤宗一郎（長野）　中原壽一郎（長野）　岡中周市（山口）
澁谷十郎（新潟）　松岡益雄（熊本）　林　藤三郎（滋賀）

大正八年三月第二十一回專修科修了生（十八人）（成績順）

岡村梧彌太（東京）　石丸源次郎（佐賀）　長尾昌平（香川）　黃　祐日（朝鮮）
大槻　喬（兵庫）　岡村喜代廣（埼玉）　長谷川得太郎（愛知）　長野小伊三郎（岐阜）
大澤忠光（東京）　宮本寅平（福岡）　濱口末喜（大阪）　西澤信三（長野）
武田正雄（岡山）　山本憲太郎（靜岡）　松隈吉郎（佐賀）
加藤逸之（東京）　岩月定次（愛知）　大津千丈（宮城）

露語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生　（二人）　（いろは順）

田中與五郎（大阪）　深井才治（新潟）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（三人）　（いろは順）

岡部重一郎（東京）　松尾長之助（佐賀）　佐伯迅二郎（和歌山）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（二人）　（いろは順）

長野豐彥（大分）　酒井恒矢（山形）

明治三十五年七月第四回別科修了生　（五人）　（いろは順）

稻澤珍三郎（宮崎）　久保田兵一（北海道）　木下蕃（福井）
大倉勤夫（山形）　軍地五郎（茨城）

明治三十六年七月第五回別科修了生　（八人）　（いろは順）

市川謙三（東京）　奥野幸吉（兵庫）　村上常郎（宮城）　子沖漢（清國）
鳥居博（福島）　竹內彌惣次（三重）　村井英一郎（岐阜）　松平庄九郎（東京）

明治三十七年七月第六回別科修了生　（六人）　（いろは順）

原田三平（山口）　中川正雄（兵庫）　藤井十四三（山口）
岡田貞作（新潟）　村山丑松（新潟）　三宅福馬（高知）

明治三十八年七月第七回專修科（改稱別科）修了生　（六人）　（いろは順）

根津鹿之輔（千葉）　中瀨覺次郎（富山）　山德貫之輔（東京）
成瀨正義（香川）　大友義勝（東京）　間瀨越彌（北海道）

明治三十九年七月第八回專修科修了生　（一人）　（いろは順）

細野正文（新潟）

明治四十年三月第九回專修科修了生　（七人）　（いろは順）

石橋則隆（福岡）　高崎忠一（石川）　上野信孝（東京）　疋田盛一（東京）
金森輝夫（岐阜）　竹內嘉兵衛（東京）　駒田彌四郎（三重）

明治四十一年三月第十回專修科修了生　（六人）　（いろは順）

劉用靜（清國）　山科久（栃木）　松信春之助（茨城）
鍵和田專太郎（神奈川）　松井英一（宮城）　宮崎友次郎（東京）

明治四十二年三月第十一回專修科修了生　（三人）　（いろは順）

山本眞太郎（靜岡）　荒木賴吉（東京）　皆川太郎（山口）

明治四十三年三月第十二回專修科修了生　（五人）　（いろは順）

石龜守人（岩手）　中野力太郎（東京）　佐治喜一（福島）
加藤盛三（三重）　中島平（福井）

明治四十四年三月第十三回專修科修了生　（四人）　（成績順）

大森鐵三（愛知）　竹島響一（山口）　前田儀作（東京）　遠藤宗一（三重）

明治四十五年三月第十四回專修科修了生　（三人）　（成績順）

岡見潤吉（京都）　瀧文宣（香川）　梅澤銀造（宮城）

大正二年三月第十五回專修科修了生　（三人）　（成績順）

尾瀬敬止（京都）　黒石信一（東京）　長谷部照伍（神奈川）

大正四年三月第十六回專修科修了生　（二人）　（成績順）

關餘作（北海道）　神田榮（山口）

大正五年三月第十七回專修科修了生　（四人）　（成績順）

桑木榮明（東京）　玉木時設（新潟）　外山高一（東京）　渡邊勝太郎（東京）

大正六年三月第十八回專修科修了生　（六人）　（成績順）

原久一郎（新潟）　中村良之助（東京）　恒川助次郎（愛知）
岡部直三郎（廣島）　中村正明（埼玉）　渡邊秀一（東京）

大正七年三月第十九回專修科修了生　（十二人）　（成績順）

佐々木嘉吉（愛媛）　大高義尾（東京）　田代巳代次（東京）　鈴木光三郎（福島）
須田正繼（山梨）　茂呂憲吉（東京）　香川正雄（岡山）　檜垣春三（廣島）
白石實三（群馬）　岡上守道（高知）　松本欽一郎（佐賀）　横本榮一（岡山）

大正八年三月第十回專修科修了生　（八人）　（成績順）

田淵謙一（東京）　園部正一（岐阜）　田島彰（愛知）　川井田脩（鹿兒島）
茂木剛三郎（東京）　關矢恕一（新潟）　大塚清（兵庫）　星榮三郎（宮城）

伊語學科

明治三十四年七月第一回別科修了生　（一人）

平松義比古（和歌山）

明治三十五年七月第二回別科修了生　（一人）

森田鐵三郎（新潟）

明治三十六年七月第三回別科修了生　（一人）

菅野誠（宮城）

明治四十五年三月第四回專修科修了生　（一人）

佐々木喜市（大阪）

大正三年三月第五回專修科修了生　（一人）

下位春吉（東京）

大正四年三月第六回專修科修了生　（一人）

柳英一郎（新潟）

大正五年三月第七回專修科修了生　（一人）

伊東廣雄（長野）

大正六年三月第八回專修科修了生　（二人）　（成績順）

井岡邦雄（東京）　瀧澤直七（栃木）

大正七年三月第九回專修科修了生　（三人）　（成績順）

牛山充（長野）　中岡彌高（岡山）　坂本竹藏（東京）

西語學科

明治三十二年七月第一回別科修了生　（二人）　（いろは順）

渡邊清（東京）　津田弘季（岡山）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（一人）

堀口福彦（岡山）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（一人）

鈴木三郎（千葉）

明治三十八年七月第四回專修科（別科改稱）修了生　（五人）　（いろは順）

伊藤恒太郎（山口）　齋藤惣吉（山口）　進藤信雄（群馬）

×大塚修（愛媛）　眞田五十吉（東京）

明治四十年三月第五回專修了修了生　（五人）　（いろは順）

橋本靜（滋賀）　片山謙（德島）　宮崎信造（福岡）

加藤順之介（茨城）　大野基尙（大分）

明治四十一年三月第六回專修科修了生　（三人）　（いろは順）

緒田原重雄（福岡）　加毛肇（三重）　吾妻捨吉（宮城）

明治四十二年三月第七回專修科修了生　（二人）　（いろは順）

國久作之助（福井）　杉本精（東京）

明治四十三年三月第八回專修科修了生　（五人）　（いろは順）

富田義男（福島）　若林高彦（愛知）　鈴木眞靜（兵庫）

尾崎光美（宮崎）　田山保世（東京）

大正二年三月第九回專修科修了生　（三人）　（成績順）

駒崎秀胤（兵庫）　齋藤準平（宮城）　田代巳代次（東京）

葡語學科

大正七年三月第一回專修科修了生　（四人）　（成績順）

十川成一（山口）　副島五十二（東京）　山崎幾平（靜岡）　石原昌榮（北海道）

大正八年三月第二回專修科修了生　（二人）　（成績順）

○笠井鎭夫（岡山）　大西楷太（岡山）

支那語學科　（舊稱清語學科・大正二年九月改正）

明治三十二年七月第一回別科修了生　（六人）　（いろは順）

泉水信太郎（千葉）　加納政太郎（東京）　坂野竹之助（茨城）

小川運平（埼玉）　鎌田彌助（鹿兒島）　日高賢吉郎（長崎）

明治三十三年七月第二回別科修了生　（七人）　（いろは順）

龜山玄明（岐阜）　田中慶太郎（京都）　大久保家道（東京）　佐藤長次郎（埼玉）

高岩勘次郎（福岡）　中島比多吉（埼玉）　福崎三次郎（鹿兒島）

明治三十四年七月第三回別科修了生　（十七人）　（いろは順）

稻澤珍三郎（宮崎）　成田文太夫（宮城）　大久保宜家（東京）　白藤芳夫（東京）

岡田瓢（長野）　中田金次郎（東京）　菊池三九郎（東京）　關菊磨（京都）

小澤銀十郎（長野）　村上久吉（東京）　菊川龜次郎（熊本）

唐澤祐慶（東京）　大橋末彥（東京）　岸峰治郎（鳥取）

高比良勝二（長崎）　太田繁（東京）　皆川秀孝（茨城）

明治三十五年七月第四回別科修了生　（十一人）　（いろは順）

田中政吉（兵庫）　黑澤兼次郎（富山）　兒玉純（鹿兒島）　秋吉英三（東京）

宅野潔（山口）　桑原壽一（山口）　遠藤三藏（兵庫）　菊地崇（茨城）

村田鐵三郎（愛媛）　松井英一郎（岐阜）　赤澤宇之助（鹿兒島）

明治三十六年七月第五回別科修了生　（十三人）（いろは順）

吉田興三郎（滋賀）　奥田猛（兵庫）　淺井周治（愛媛）　管沼佐喜男（三重）
芳野五郎（東京）　山田茂三郎（富山）　北村一郎太（長崎）
仲西次郎（福岡）　古谷鐵之助（東京）　宮越健太郎（新潟）
中川四郎（愛媛）　小池英次（福島）　須賀幸太郎（群馬）

明治三十七年七月第六回別科修了生　（十二人）（いろは順）

入澤豐（東京）　角田松次郎（群馬）　井上翠（兵庫）　清水知（愛知）
金田雄次（静岡）　長澤貞（栃木）　太田貞吉（東京）　椎野榮一（新潟）
只野重次郎（宮城）　葉順平治（島根）　今逸郎（青森）　鈴木仁四郎（栃木）

明治三十八年七月第七回專修科修了生　（十九人）（いろは順）

岩村武中（千葉）　和田貫一郎（東京）　山崎成太郎（奈良）　新井信次（東京）
石原新七（埼玉）　田淵清一兵衛（徳島）　松本義圓（廣島）　天野准一（愛知）
西田周平（富山）　宇井英（東京）　巻雄四郎（東京）　安藤堅次（岐阜）
岡山周藏（兵庫）　草場力（愛知）　福田勇（岐阜）　森山德助（島根）
狄島四三二（東京）　山野井虎市（東京）　青木金太郎（奈良）

明治三十九年七月第八回專修科修了生　（十七人）（いろは順）

遠山吉之介（愛知）　小澤銀次郎（東京）　津田榮（大阪）　小林代次郎（東京）
德永政一（山口）　川橋正次郎（京都）　久保清吉（廣島）　小林源造（東京）
富田康平（静岡）　加藤庸三（群馬）　福田清一（群馬）　遠藤重男（福岡）
寺境彌（東京）　齋藤伊右衛門（東京）　木下茂雄（東京）
荒川德一（東京）　佐々木三利（福井）

明治四十年三月第九回專修科修了生　（二十四人）（いろは順）

伊藤東一郎（岩手）　小山義龜（福岡）　黒田茂八（富山）　湯山牛兵衛（神奈川）
池田良太郎（山形）　龜山猛治（北海道）　山本寅雄（東京）　行岡宇多之助（東京）
濱野萬吉（東京）　上遠野武（宮城）　福田榮治（埼玉）　庄田規矩郎（東京）
長谷川豐男（埼玉）　浦田二郎（東京）　近藤菊雄（富山）　下平晋（長野）
西島德太郎（東京）　大多和登實吉（宮崎）　朝比奈泰吉（兵庫）　守田藤之助（東京）
小川吉之助（東京）　大野郷夫（東京）　木村重藏（福島）　關根富貴男（東京）

明治四十一年三月第十回專修科修了生　（十六人）（いろは順）

今藏熊太郎（東京）　山田鎌次郎（新潟）　酒葉道信（東京）　三木宗太郎（徳島）
村田友三郎（栃木）　松脇正昇（東京）　三枝一郎（東京）　樋口鐵六（東京）
植田一夫（神奈川）　後藤勢一（香川）　鮫島時應（鹿兒島）　森德次郎（静岡）
栗山勝正（山口）　手塚武義（山梨）　水谷一之亮（三重）　杉本吉五郎（東京）

明治四十二年三月第十一回專修科修了生　（十三人）（いろは順）

新島謙吉（東京）　中川好助（静岡）　山田久太郎（富山）　菅眞人（愛知）
神谷豐左衛門（愛知）　中山忠次（和歌山）　山根藤七（島根）
高橋貞之助（東京）　長崎元一（東京）　齋藤清俊（秋田）
中路留吉（福島）　村田春江（千葉）　菱伊新三郎（宮城）

明治四十三年三月第十二回專修科修了生　（十人）　（いろは順）

市川保一（東京）　脇川文近（長崎）　矢部力雄（群馬）　宮崎太郎（東京）
今井健彦（靜岡）　內藤繁治（東京）　山田萬助（東京）
秩父固太郎（東京）　中村米壽（長野）　小池二郎（東京）

明治四十四年三月第十三回專修科修了生　（十人）　（成績順）

長谷部巖（岐阜）　太田贇事（茨城）　杉山喜平（大阪）　岡松象雄（大分）
片桐靖（新潟）　竹內源次郎（福岡）　加藤建次郎（愛知）
島田一郎（埼玉）　中村三藏（香川）　今井仁平（兵庫）

明治四十五年三月第十四回專修科修了生　（六人）　（成績順）

荒井恰（愛知）　吉田壽三郎（熊本）　櫻庭巖（青森）
濱中直樹（靜岡）　牧野鎌太郎（愛知）　門馬福之進（福島）

大正二年三月第十五回專修科修了生　（十二人）　（成績順）

菊地篤三（千葉）　中川宮（神奈川）　林林之介（東京）　兒玉豪雄（廣島）
小山清次（東京）　內田松三郎（愛知）　原田三平（山口）　石田力（東京）
志摩英（神奈川）　山寺吉之助（千葉）　奥山巖（大阪）　時田傳左衞門（埼玉）

大正三年三月第十六回專修科修了生　（四人）　（成績順）

貴志正雄（和歌山）　高橋弘（東京）　坪倉俊之助（群馬）　長江信之助（栃木）

朝鮮語學科　（舊稱韓語學科　明治四十四年一月改稱）

明治三十四年七月第一回別科修了生　（一人）

井上安次郎（京都）

明治三十九年七月第二回專修科（別科改稱）修了生　（五人）　（いろは順）

岡本格之助（東京）　村木漁（三重）　杉原惣太郎（福島）
七邊格太郎（岡山）　比佐祐次郎（秋田）

明治四十年三月第三回專修科修了生　（一人）

新納賢司（東京）

明治四十一年三月第四回專修科修了生　（二人）　（いろは順）

西村獅子雄（岐阜）　宮崎道雄（三重）

明治四十二年三月第五回專修科修了生　（二人）　（いろは順）

大谷任功（福島）　三宅知之（東京）

明治四十三年三月第六回專修科修了生　（四人）　（いろは順）

多田闇（鳥取）　田村京吉（岩手）　有山謙藏（埼玉）　三好春雄（東京）

明治四十四年三月第七回專修科修了生　（二人）　（成績順）

青木正春（山口）　大橋矩（東京）

明治四十五年三月第八回專修科修了生　（三人）　（成績順）

藤田男（鹿兒島）　南文止（大分）　山根藤七（島根）

速成科修了生　（成績順）

西語學科

大正三年三月第一回修了生　（五人）

大須勝（東京）　徳原寛一（徳島）　岩淵繁樹（東京）
中西毅（北海道）　犬伏康平（徳島）

大正四年三月第二回修了生　（九人）

山田鐵彦（大阪）　菊池治三郎（愛媛）　本多次郎（三重）
加畑伊輔（京都）　門林安郎（大阪）　鈴木亨三（三重）
久保田昇（長崎）　服部定雄（三重）　野田茂一郎（熊本）

大正五年三月第三回修了生　（九人）

十川成一（山口）　樋畑正己（東京）　黒石元次（山口）
濱崎龜太郎（東京）　渡部登（島根）　姫井昇一（岡山）
松平絜（東京）　有地了三（廣島）　中島直己（東京）

支那語學科

大正三年三月第一回修了生　（九人）

戸川健三（大阪）	山口勝也（神奈川）	大久保喜重治（巖手）
伊藤時雄（長野）	塚越島十郎（群馬）	千阪保臣（東京）
荒井敏郎（德島）	渡邊耙平（新潟）	岡野庄藏（東京）

大正四年三月第二回修了生　（八人）

渡邊哲（茨城）	河相衍（朝鮮）	土井豐（愛媛）
小玉英一（愛知）	尹亮求（朝鮮）	下川末市（長崎）
豐島五六（東京）	木下淺吉（佐賀）	

大正五年三月第三回修了生　（十三人）

米村満男（熊本）	廣瀬主殿（山梨）	長島五三郎（兵庫）	鈴木晟太郎（栃木）
衛藤忠雄（大分）	犬丸鐵太郎（東京）	恒川泰次（奈良）	
雨宮正雄（愛知）	水谷貞雄（愛知）	多田慶明（愛媛）	
森忠雄（愛媛）	森脇忠敏（埼玉）	木原文騶（滋賀）	

大正六年三月第四回修了生　（十四人）

田邊桑三郎（島根）	菱沼文二（宮城）	村江汎之（鳥取）	平野賢吉（千葉）
柏木栞（兵庫）	今關逹也（千葉）	竹中京太郎（東京）	川尻忠（秋田）
寺村豐次郎（滋賀）	板倉與三郎（熊本）	青木金之助（東京）	
德久虎之助（佐賀）	平井清（宮城）	大倉明三郎（東京）	

大正七年三月第五回修了生　（九人）

池田佐久馬（長崎）	或島武八（茨城）	清島重德（東京）
石山陽三（埼玉）	松山悅次郎（愛知）	柳澤五郎（長野）
中川敬治（京都）	大和田藤馬（福島）	伊部唯一（福井）

朝鮮語學科

大正三年三月第一回修了生　（五人）

副島壽人（長崎）	鬼塚隆藏（東京）	小瀬村龜三（神奈川）
高瀬由己（大分）	山本元次郎（千葉）	

明治四十年三月速成科修業生（明治三十九年三月設置同四十年三月廢止／修業年限一ケ年／授業時數一週二十二時間）

露語學科（十九人）（いろは順）

渡邊源四郎（石川）
程田藤吉（東京）
戸川末三（東京）
竹室卯造（兵庫）
宗文江（東京）
根岸伊七（群馬）
奥山光茂（鹿兒島）
押見寅之助（東京）
山口甲子男（靜岡）
保田宗治郎（神奈川）
福井敬嚴（東京）
高範中（清國）
厚美清太郎（德島）
秋草愛一（群馬）
湯淺誠作（群馬）
皆川太郎（山口）
三浦安兵衞（愛知）
鹽田彌惣八（滋賀）
茂木德音（長野）

清語學科（二十九人）（いろは順）

岩本正木（長野）
林善一（東京）
西山章二（福島）
細川久（岩手）
土井芳輔（山口）
川谷宮太郎（高知）
立花慶應（福岡）
高山好（新潟）
辰川質（愛媛）
竹中信以（東京）
塚原守重（山梨）
長竹元吉（千葉）
中村春之助（神奈川）
中村惠延（埼玉）
矢野繁之丞（岩手）
松岡龍吉（岐阜）
松田知禮（愛媛）
松浦捨吉（和歌山）
藤岡藤市（德島）
舟津勝三（東京）
江口是三郎（佐賀）
新井慶太郎（埼玉）
秋元雄治（群馬）
酒井恒記（愛媛）
岸田國太郎（京都）
澁谷兵八（岐阜）
清水清次（山形）
鈴木一良（東京）
鈴木榮之丞（長野）

韓語學科（十四人）（いろは順）

池田傳次（秋田）
石川竹三郎（埼玉）
田中德太郎（青森）
中澤鐵太郎（東京）
野澤寛一（新潟）
與津健夫（東京）
黑羽賚明（茨城）
山中忠太（三重）
松岡末廣（愛媛）
足助嘉一郎（長野）
北山清（茨城）
宮崎侃（東京）
島谷直方（富山）
壘豪兒（愛知）

東洋語速成科修業生

（明治四十一年四月設置同四十四年三月廢止　修業年限一ケ年　授業時數一週二十二時間）

馬來語學科

明治四十二年三月第一回修業生　（十六人）　（いろは順）

飯塚重一（埼玉）	加藤治釖（静岡）	中島懋一（東京）	松井秀三（鳥取）
林虎太（香川）	笠村思敬（栃木）	宇野耕雲（東京）	松信春之助（茨城）
小野良吉（大分）	田中興平多（長野）	野口郁彦（北海道）	近藤正二（東京）
荻島良三（埼玉）	中村庄太郎（福井）	久保田善一郎（茨城）	寺尾熊次（北海道）

明治四十三年三月第二回修業生　（二人）　（いろは順）

×岩室哲次郎（廣島）	秋保俊治（宮城）

明治四十四年三月第三回修業生　（四人）　（成績順）

森田三郎（東京）	板垣龍三（山形）	木全書吾（愛知）	山道儀三郎（群馬）

ヒンドスタニー語學科

明治四十二年三月第一回修業生　（十二人）　（いろは順）

稲見憲吉（栃木）	小栗明（岐阜）	金村貞太郎（東京）	鷹屋祐擴（富山）
武關久壽（栃木）	上田孝三（三重）	大澤友吉（千葉）	赤羽宇重（長野）
土屋政次郎（岡山）	鵜飼仙之助（岐阜）	山室廉吉（宮崎）	阿満得壽（京都）

明治四十三年三月第二回修業生　（二人）　（いろは順）

石山善壽（栃木）	野口一三郎（新潟）

明治四十四年三月第三回修業生　（五人）　（成績順）

豐田忠太郎（石川）	神崎友吉（栃木）	横山金三郎（滋賀）
湿味瑩（静岡）	江尻正一（茨城）	

タミル語學科

明治四十二年三月第一回修業生　（四人）　（いろは順）

田中俊三（和歌山）	柳田光之助（東京）	秋元善藏（青森）
三宅正（愛媛）		

明治四十三年三月第二回修業生　（二人）　（いろは順）

和田逸三（兵庫）	湿味瑩（静岡）

蒙古語學科

明治四十二年三月第一回修業生　（六人）　（いろは順）

石山福治（新潟）	西田與左衛門（東京）	吉田順三（東京）
中島友次郎（群馬）		

藤森勇（長野）　三俣二郎（群馬）

明治四十三年三月第二回修業生　（三人）　（いろは順）

高橋安親（新潟）　高田治作（北海道）　猪狩重光（北海道）

明治四十四年三月第三回修業生　（七人）　（成順順）

神谷衡平（東京）　宮島鹿雄（佐賀）　淺野睦（東京）　片野孝三（福島）
笠井清三郎（三重）　大地亮平（千葉）　脇川文近（長崎）

東京音樂學校委託伊語特別科修了生（修業年限二ヶ年　授業時數一週六時間）

大正三年三月修了生

松島彝（東京）

東京府委託支那語特別科修業生（修業年限二ヶ年　授業時數一週六時間）

大正七年七月修業生　（十八人）　（成績順）

天野源一（静岡）　松本篤太郎（東京）　原義一良（東京）　宮城富朗（東京）
矢野重弘（北海道）　安藤義照（東京）　増田逹雄（滋賀）　松平勇（愛知）
椿祥次（熊本）　漆畑五郎（静岡）　神保文一（東京）　藤野周太郎（大阪）
日下定次郎（東京）　中山武（廣島）　澁谷直（茨城）
原西季雄（東京）　杉浦鉦一（愛知）　堀井芳三郎（京都）

第五臨時教員養成所卒業生（明治三十五年四月設置同三十九年三月廢止　英語科、修業年限二ヶ年）

明治三十七年三月第一回卒業生　（二十六人）　（いろは順）

泉本覺一郎（奈良）
池田朝長（東京）
芳賀重治郎（宮城）
橋村惠五郎（高知）
二瓶兵二（福島）
越智國一（愛媛）
小川政之助（香川）
岡村邦雄（三重）
小野襄（青森）
川瀬兼治（山形）
金井半三郎（群馬）
高橋良一（岩手）
並河良孝（島根）
向高良夫（宮崎）
梅谷與一（埼玉）
國枝昇（熊本）
×八十與一（兵庫）
山田孝太郎（茨城）
山本市太郎（島根）
小林光（東京）
江副秀喜（熊本）
坂部和三郎（愛知）
木下芳雄（東京）
森鵬（大分）
關恰（鹿兒島）
鈴木康（栃木）

明治三十九年三月第二回卒業生（二十五人）（いろは順）

傍士瀧治（高知）
西村昻三（島根）
×堀尾柳市（島根）
本郷良喜治（宮城）
富永置三（東京）
小田四郎（宮崎）
加藤治躬（靜岡）
田子富彦（鳥取）
瀧崎保（長野）
名原廣三郎（島根）
仲本吉一郎（沖繩）
夏原由三郎（滋賀）
大下盛（香川）
山本甚輔（山口）
眞方友二（宮崎）
福元一二（鹿兒島）
×五島退藏（德島）
今元鶴（青森）
赤井知洗（奈良）
佐藤國彦（福島）
宮田峰一（廣島）
清水勇（愛媛）
平岩元吉（愛知）
須藤參治（岩手）
鈴木龜壽（東京）

英語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十年	二八	二八			二四	
同 三十一年	九一	一七			四四	
同 三十二年	一二二	二八			四二	一二
同 三十三年			一〇	七四	二九	六
同 三十四年	一二〇	三六	一一	一九六	五四	五
同 三十五年	一四四	二八	一九	二〇七	五四	一六
同 三十六年	一八九	二九	六	一八九	五〇	一九
同 三十七年	一八五	三〇	一六	一五五	六二	一二
同 三十八年	二一五	二九	一九	一八六	六四	一九
同 三十九年	二一一	三〇	三〇	二一五	四六	二四
同 四十年	一九一	三〇	三〇	一九七	七〇	二二
同 四十一年	二二四	二七	二三	一八〇	六九	一四
同 四十二年	二四〇	三〇	二八	二八五	七一	二二
同 四十三年	一九〇	二六	二三	一二〇	七八	一九
同 四十四年	一八七	三五	三二	七九	五四	二七
同 四十五年	二一三	三〇	一九	八四	四九	三二
大正 二年	二三二（內第二志望二二）	三〇	二一	八一	五四	一九
同 三年	二四一（內第二志望七）	二八	二二	七一	三三	一五
同 四年	二三七（內第二志望二六）	二八	二四	九〇	五〇	九
同 五年	二九三（內第二志望一八）	二九	一九	八五	四八	一一
同 六年	三〇二（內第二志望一三）	三四	二一	八二	五三	一四
同 七年	四三九	六二	二六	一二九	六八	二三
同 八年	四二〇	三七	二七	二〇一	七三	二六

佛語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十年	一五	一五			三五	
同 三十一年	四八	二一			五九	
同 三十二年	五三	二四			五二	九
同 三十三年	四五	一四	三	六二	六二	三
同 三十四年	四二	三〇	九	七八	七二	三
同 三十五年	五九	三一	一七	八八	八二	一四
同 三十六年	五〇	二九	九	六一	四八	八
同 三十七年	六〇	三〇	一三	六七	五〇	一〇
同 三十八年	一〇六	二九	一三	八一	三五	六
同 三十九年	五三	二七	一四	一〇四	三三	八
同 四十年	四五	二七	二〇	六六	二六	五
同 四十一年	四六	二九	一五	三九	三二	六
同 四十二年	五八	二六	二〇	一〇九	三八	四
同 四十三年	三六	二五	一八	三三	三五	七
同 四十四年	五九（内第二志望九）	二七	一四	五二	四八	六
同 四十五年	五九（内第二志望一六）	二四	二一	四九	四四	七
大正二年	九一（内第二志望三六）	二五	一五	五〇	四三	四
同 三年	一〇六（内第二志望五一）	二四	一四	四五	四〇	七
同 四年	九九（内第二志望五五）	二五	一四	五五	五三	一〇
同 五年	一三二（内第二志望七七）	二五	一三	五〇	四四	一一
同 六年	一九六（内第二志望一二〇）	二八	二〇	五一	四七	一三
同 七年	二四〇（内第二志望一四四）	三一	一七	四七	四五	一〇
同 八年	一五三	三一	二四	八七	五五	一五

獨語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十年	二八	二八			三〇	
同 三十一年	六三	一六			五四	
同 三十二年	七二	一四			六二	六
同 三十三年	四二	二四	七	六九	六九	九
同 三十四年	四三	二九	五	一五〇	一三四	八
同 三十五年	五三	三〇	九	一七〇	一四五	一五
同 三十六年	六一	三二	一五	二一四	一四八	一三
同 三十七年	五三	三〇	一一	一一七	六八	一五
同 三十八年	七一	三一	九	一八七	九六	一九
同 三十九年	四五	三〇	二六	二二三	四二	一七
同 四十年	五一	二一	一三	一五五	五四	二二
同 四十一年	四五	三〇	一八	一四四	七一	一三
同 四十二年	五八	二四	一五	二五四	六九	一〇
同 四十三年	三四	二二	一五	六九	四六	一二
同 四十四年	五五（内第二志望一〇）	三三	一六	七五	六七	一四
同 四十五年	五五（内第二志望六）	二八	一七	七八	七一	一八
大正二年	九五（内第二志望五五）	二四	一六	七八	六四	一二
同 三年	一二五（内第二志望七九）	二七	一七	八四	五〇	一七
同 四年	六二（内第二志望三〇）	一八	一二	七〇	六六	一七
同 五年	一七〇（内第二志望一〇四）	二〇	一八	一〇三	八五	一五
同 六年	一四九（内第二志望九二）	二九	一五	六七	五八	一五
同 七年	二五一（内第二志望一五八）	三〇	九	六五	五一	一〇
同 八年	五七	二八	一二	一一三	七五	一八

露語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十年	一五	一五			二六	
同三十一年	三〇	一五			二二	
同三十二年	三三	一四			一八	二
同三十三年	三五	一三	六	三九	三九	三
同三十四年	四二	二八	一〇	三九	三九	二
同三十五年	五九	三〇	七	三六	三二	五
同三十六年	五五	三〇	一七	三八	三八	八
同三十七年	三七	三〇	一三	二三	一二	六
同三十八年	四九	三一	二四	二五	二一	六
同三十九年	四七	三一	二六	三一	一九	一
同四十年	二六	一九	二一	一六	一三	七
同四十一年	二〇	一八	一九	三七	二七	六
同四十二年	三三	二〇	一九	五三	二三	三
同四十三年	二七	二三	一七	一七	一四	五
同四十四年	二七（内第二志望四）	一一	一五	一六	一五	四
同四十五年	二七（内第二志望五）	一七	七	九	九	三
大正二年	七六（内第二志望四一）	二五	一六	一六	一二	三
同三年	九三（内第二志望五三）	二五	一〇	一一	一〇	
同四年	一七二（内第二志望七九）	三三	一〇	二二	一九	二
同五年	二四二（内第二志望一一九）	三三	九	五六	四九	四
同六年	二四〇（内第二志望一〇八）	三五	一一	四一	三八	六
同七年	一二六（内第二志望六八）	三〇	一七	一八	一五	一二
同八年	九七	二八	二一	五四	四八	八

伊語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治三十二年	一四	六			二	
同三十三年	五				三	
同三十四年	一五	一五		二	二	一
同三十五年	三二	一七	四			一
同三十六年	一四	一四		四	四	一
同三十七年	一六	一〇	四	三		
同三十八年			七	二	二	
同三十九年	一一	一〇	三	二		
同四十年	七	六	四	二		
同四十一年	六	五		一	一一	
同四十二年	五	四	六	一〇	八	
同四十三年	七	六	五	六	五	
同四十四年			三			
同四十五年	二		四	七	六	一
大正二年	三一（内第二志望二七）	一七	二	一〇	八	
同三年				四	四	一
同四年				四	三	一
同五年	二六（内第二志望二一）	一四	六	一二	一一	一
同六年				二	二	二
同七年				六	六	三
同八年	二二	二一	八	一二	八	

西語學科

*印ヲ附シタルハ速成科入學志願者入學並ニ修了者ナリ

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十年	六	六			一一	
同三十一年	一五	五			八	
同三十二年	一三	六			四	二
同三十三年	一三	—	三	九	九	一
同三十四年	二六	一五	五	五	五	一
同三十五年	三五	二一	六	一〇	九	
同三十六年	二四	二四		二〇	二〇	
同三十七年	三七	二八	一〇	一八	一二	
同三十八年	—	—	八	一四	一二	五
同三十九年	六四	二九	一三	二四	一六	
同四十年	四九	二七	一九	三〇	一三	五
同四十一年	三四	一一		四八	二六	三
同四十二年	三〇	一六	一四	四二	二〇	二
同四十三年	一四	九	一二	一二	九	五
同四十四年	二五（内第二志望三三）	一四	九	六	五	
同四十五年	三三（内第二志望二三）	一六	八	一〇	八	
大正二年	一〇四（内第二志望六二）	二三	九	*五〇	*四〇	三
同三年	一〇九（内第二志望五〇）	二九	六	*三四	*二六	*五
同四年	八六（内第二志望四四）	一九	六	*二八	*二五	*九
同五年	一〇五（内第二志望六一）	二三	八			*九
同六年	一四八（内第二志望一〇一）	二九	一二			
同七年	二八一（内第二志望一七二）	三九	一一			
同八年	九一	二九	一六			

葡語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
大正五年				一一	一〇	
同六年				五	五	
同七年				九	八	四
同八年	一二	一四				二

支那語學科

*印ヲ附シタルハ速成科入學志願者入學並ニ修了者ナリ

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十年	一三	一三			二〇	
同三十一年	二七	一二			二〇	
同三十二年	三七	一三			三九	六
同三十三年	二三	一〇	九	四四	四四	七
同三十四年	三五	二九	一一	三三	二八	一七
同三十五年	六五	三〇	八	九七	八九	一一
同三十六年	六二	三〇	九	八三	五六	一三
同三十七年	一〇七	三〇	一八	一九九	一〇九	一二
同三十八年	一〇〇	三三	二七	一六〇	七四	一九
同三十九年	七四	二七	二一	一二六	四一	一七
同四十年	四三	三〇	二七	八八	三七	二四
同四十一年	六三	三〇	一七	五三	三五	一六
同四十二年	三五	二八	二〇	五三	二五	一三
同四十三年	四五	二三	二四	二一	一八	一〇
同四十四年	二四（内第二志望[illegible]）	一七	二三	三五	二八	一〇

年度						
同四十五年	(内第二志望一五)五〇	二一	二一	二六	二一	六
大正二年	(内第二志望四二)六六	二五	一四	*三二	*二二	一二
同三年	(内第二志望五三)八三	二一	一三	*一七	*一五	*九四
同四年	(内第二志望六六)一〇七	二六	一六	*三九	*三三	*八
同五年	(内第二志望九五)一四六	二一	二〇	*三五	*二九	*一三
同六年	(内第二志望七四)一五〇	二七	一一	*三八	*三三	*一四
同七年	(内第二志望一五八)二六三	三〇	二一	三四	二六	*九
同八年	一六三	三三	一八	三一	二七	

蒙古語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治四十四年	(内第二志望六)七	七		三	二	
大正二年	(内第二志望六)八					
同三年	(内第二志望一一)二〇	八	三	三	三	
同五年	(内第二志望三一)四〇	一一				
同六年			七			
同七年	(内第二志望四九)五七	六				
同八年			九			

暹羅語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治四十四年	(内第二志望九)一二	一二				
大正二年	(内第二志望一二)一六	一〇				
同三年			四			
同五年			四			

馬來語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治四十四年	(内第二志望一三)一九	一七				
大正二年	(内第二志望二六)三五	一四				
同三年			一〇			
同四年	(内第二志望四八)六三	一二				
同五年			五			
同六年	(内第二志望六〇)七六	一七		九	七	
同七年			一〇	五	五	
同八年	三七	二〇				

ヒンドスタニー語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科 入學志願者	專修科 入學者	專修科 修了者
明治四十四年	(内第二志望五)七	六		三	二	
大正二年	(内第二志望八)一一	八				
同三年			四			
同四年	(内第二志望一〇)一四	六				
同五年			五			
同六年	(内第二志望三六)四九	一二				
同七年			五			
同八年	一六	一七				

朝鮮語學科

年度	本科 入學志願者	本科 入學者	本科 卒業者	專修科及速成科 入學志願者	專修科及速成科 入學者	專修科及速成科 修了者
明治三十年	六	六			三	
同三十一年	八	三			三	
同三十二年	二二	一六			八	
同三十三年	六		三	三	三	
同三十四年	八	六	四			一
同三十五年	二九	二七	九			
同三十六年	二三	二三	一			
同三十七年	三七	二七	三	一七	一一	
同三十八年	四〇	二九	一〇	一四	七	
同三十九年	一七	一二	一二	九	四	五
同四十年	九	七	一六	八	六	一
同四十一年	一九	一三	一四	二一	一五	二
同四十二年	二〇	一六	一〇	二九	一四	二
同四十三年	一九	一四	二	一一	九	四
同四十四年	一八（内第二志望一七）	一二	七	一	一	二
同四十五年	二二（内第二志望二八）	一四	九			三
大正二年			七	※九	※五	
同三年	三〇（内第二志望二二）	一〇	六			※五
同四年	一九（内第二志望一五）	四	六			
同六年			七			

※印ヲ附シタルハ速成科入學志願者入學者竝ニ修了者ナリ

第二十一學年（大正七年）度概況

一、教官

	教授	助教授	外國教師	講師
英語	五		一	二
佛語	二			五
獨語	三		一	二
露語	二		一	一
伊語	二		一	
西語	一	一	一	
葡語			一	
支那語	二		一	一
蒙古語			一	一
馬來語			二	
印度語			一	
蘭語				一
修身教育學	一			
言語學				
地理歷史				一
經濟通論				一
商業通論				二
法學通論				一
法律	一			
體操		二		
國語漢文				一

二、本科卒業者選科修了者同修業者及專修科修了者

科別	本科卒業者	選科修了者	選科修業者	專修科修了者	總計
英語學科	二七	四		二六	五七
佛語學科	二四	四	一	一五	四四
獨語學科	一二	四	三	一八	三七
露語學科	二二	三		八	三三
伊語學科	八	一			九
西語學科	一六				一六
支那語學科	一八	六	二		二六
蒙古語學科	九	一			一〇
葡語學科				二	二
計	一三五	二三	六	六九	二三三

三、生徒現員

學科	年級	本科	選科	專修科	合計
英語學科	第三年級	二七	四		一
	第二年級	三一		三〇	九
	第一年級	六一	二	四二	六
佛語學科	第三年級	二六	四		一
	第二年級	二六	一	一八	三
	第一年級	三一	四	二三	三
獨語學科	第三年級	一四	四		一
	第二年級	三〇	三	三三	四
	第一年級	二六	三	四二	三
露語學科	第三年級	三三	二		一
	第二年級	二九	四	一三	
	第一年級	二七	二	八	六
伊語學科	第三年級	九			
	第二年級				一
	第一年級			四	三
西語學科	第三年級	一七			
	第二年級	一七	一		
	第一年級	三四	一		七〇
葡語學科	第三年級				
	第二年級				
	第一年級			二	二
支那語學科	第三年級	一八	六		
	第二年級	二〇	二		八
	第一年級	三〇		八	四
蒙古語學科	第三年級	九	三		
	第二年級				二
	第一年級	六	二		
馬來語學科	第三年級				
	第二年級	一四	二		一
	第一年級			三	九
印度語學科	第三年級				
	第二年級	九			
	第一年級				九
計		五三三	五〇	二一三	七九九

二　東京外國語學校校友會規則

第一章　名稱及目的

第一條　本會ハ東京外國語學校校友會ト稱ス

第二條　本會ハ會員ノ交誼ヲ厚フシ心身ヲ鍛錬シ且校風ヲ振作スルヲ以テ目的トス

第二章　會　員

第三條　本會ハ左ノ會員ヲ以テ組織ス

一、正會員　　一、特別會員

一、贊助會員　一、名譽會員

第四條　本校本科生及ビ選科生ハ正會員タルベキモノトス

第五條　本校職員ヲ特別會員トス

第六條　本校卒業生ヲ贊助會員トス

第七條　本校ニ縁故アリ本會ノ目的ヲ贊成スル者ヲ會長ノ推薦ニヨリテ名譽會員トス

第三章　部　門

第八條　本會ニ左ノ六部ヲ置ク

第一部　武術部
第二部　陸上運動部
第三部　水上運動部
第四部　文藝部
第五部　辯論部
第六部　語學大會

第四章　役員

第九條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

但シ必要ノ場合ニハ臨時委員ヲ置ク事ヲ得

會長　一名　　副會長　一名
部長　六名　　評議員　十五名以内
幹事　三十六名（内譯　第一部四名、第二部四名、第三部九名、第四部六名、第五部五名、第六部八名）　　委員　各級一名
主計　一名　　錄事　一名

第十條　會長ハ東京外國語學校長之ニ當ル

第十一條　會長ハ本會一切ノ事務ヲ總理ス

第十二條　副會長ハ特別會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第十三條　副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ニ代ル

第十四條　部長ハ委員會ニ於テ特別會員中ヨリ選擧シ會長之ヲ囑託ス

第十五條　部長ハ各部ノ事務ヲ掌理ス

第十六條　評議員ハ特別會員及贊助會員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

第十七條　評議員ハ會長ノ諮問ニ應ジ本會ノ重要ナル事項ヲ審議ス

第十八條　幹事ハ委員會ニ於テ正會員中ヨリ選擧シ會長之ヲ任命ス

第十九條　幹事ハ部長ヲ輔ケテ各部ノ事務ヲ處理ス

第二十條　委員ハ各級ヨリ一名ヲ互選シ本會一切ノ事項ヲ評決ス

第二十一條　主計ハ本校ノ會計課員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會一切ノ出納ヲ掌ル

第二十二條　錄事ハ本校事務員中ヨリ會長之ヲ囑託シ本會ノ記錄ヲ掌ル

第二十三條　本會役員ノ任期ハ滿一ケ年トス

但シ毎年四月ヲ以テ任期ノ始トス

第五章　役員會

第二十四條　各役員會ハ役員ノ半數以上ノ出席者アルニアラサレバ成立セザルモノトス

第二十五條　役員會ヲ分チテ評議員會、部長會、幹事會及委員會トス

第二十六條　各役員會ノ細則ハ別ニ之ヲ定ム

第六章　會計

第二十七條　本會會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ルモノトス

第二十八條　次年度ノ豫算ハ毎年二月各部幹事之ヲ編成シ部長會ノ查定ヲ經テ委員會ノ議ニ附シ會長ノ認可ヲ經テ決定ス

第二十九條　正會員ハ入會金貳圓及會費年額金四圓ヲ納ムベシ

但シ入會金ハ入學ノ際ニ之ヲ納メ內金壹圓ヲ基本金トス會費ハ三回ニ分チ毎學期授業料ト同時ニ納ムベシ第一學期及第二學期ハ金壹圓トシ第三學期ハ金貳圓トス

第三十條　特別會員ハ毎月俸給月額百二十五分ノ一(外國人ハ二百分ノ一)ヲ寄附ス

第三十一條　名譽會員及贊助會員ハ會費ヲ納ムル事ヲ要セズ

第三十二條　本會ノ決算ハ毎年六月末日迄ニ委員會ニ報告シ其承認ヲ受クベシ

第七章　基本金

第三十三條　本會ハ其基礎ヲ鞏固ニシ事業ノ發達ヲ圖ランガ爲ニ基本金ヲ蓄積ス

第三十四條　本會基本金ハ特定收入ヲ以テ之ニ充ツ

第三十五條　基本金ハ之ヲ通常經費ニ流用スルヲ得ズ

但利子ハ當分ノ內基本金ニ繰入ルヽモノトス

第三十六條　有志者ヨリノ寄附ハ會長ノ承認ヲ經テ受納シ之ヲ基本金中ニ繰入ル

第八章　規則改正

第三十七條　本會規則ハ委員會ノ決議ニヨリ會長ノ認可ヲ經テ改正スル事ヲ得

(附則)　本規則ハ大正七年九月十一日ヨリ全部施行ス

三　東京外國語學校同窓會規則

名稱

第一條　本會ハ東京外國語學校同窓會ト稱ス

目的

第二條　本會ハ堅實ナル學風ノ樹立ト同窓ノ親睦ヲ厚フスルヲ以テ目的トス

會員

第三條　本會々員ハ分チテ正會員名譽會員ノ二種トス

第四條　東京外國語學校本科出身者ハ入會ノ手續ニ依ラズシテ正會員タルモノトス

但シ其他ノ出身者及嘗テ本校ニ在學セシモノハ希望ニヨリ正會員タルコトヲ得

第五條　東京外國語學校在職ノ教職員及關係者ヲ名譽會員トス

役員

第六條　本會ニ幹事及委員ヲ置ク

第七條　委員ハ總會ニ於テ各語學科毎ニ五名以內ヲ選出ス

第八條　幹事ハ十二名トシ委員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第九條　幹事委員ノ任期ハ各二ケ年トス

第十條　幹事ハ會務一切ヲ處理ス

第十一條　委員ハ幹事ヲ補佐シ會務ニ當ル

會計

第十二條　正會員ハ毎年會納費トシテ金壹圓ヲ納付スルモノトス

但一時金拾五圓也ヲ納付シタル者ハ爾後ノ會費ヲ要セズ

第十三條　資金ハ本會直接ノ業務ニ要スルモノヽ外一切支出スルコトヲ得ズ

第十四條　資金支出殘額ハ年々決算ノ上基本金ニ編入ス

第十五條　會計年度ハ毎年九月一日ヨリ翌年八月末日迄トス

第十六條　本會々計報告ハ總會ニ於テ之レヲ行フ

第十七條　本會ノ基礎ヲ確實ナラシムル爲メ基本金制度ヲ設ク

第十八條　基本金ハ銀行ニ預入レ幹事之レヲ保管ス

會合

第十九條　本會總會ハ毎年十月之レヲ開ク

但シ役員會ニ於テ必要ト認ムルトキハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第二十條　幹事ハ毎月一回會合シテ事務ヲ處理ス

第二十一條　委員ハ隔月一回會合シテ會務ヲ議決ス

但シ必要ニ應ジ臨時之ヲ開クコトヲ得

會　務

第二十二條　本會ハ會報及會員名簿ヲ毎年一回會員ニ配布ス

第二十三條　本會々員ニシテ異動シタルトキハ直チニ本部宛ニテ通知スル義務アルモノトス

規則變更

第二十四條　本會々則ノ變更ハ總會ノ際出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ要ス

支　部

第二十五條　各地ニ支部ヲ置ク

但シ支部規則ハ各地ニテ本則ニ準ジ適宜之レヲ定ム

附　則

第二十六條　本會ノ目的ヲ達センガ爲メ隨時諸種ノ機關ヲ設クルコトヲ得

附　記

本會事務所ハ東京外國語學校内ニ置ク

基本金制度

一、本會規則第十七條ニ依リ基本金制度ヲ設ク

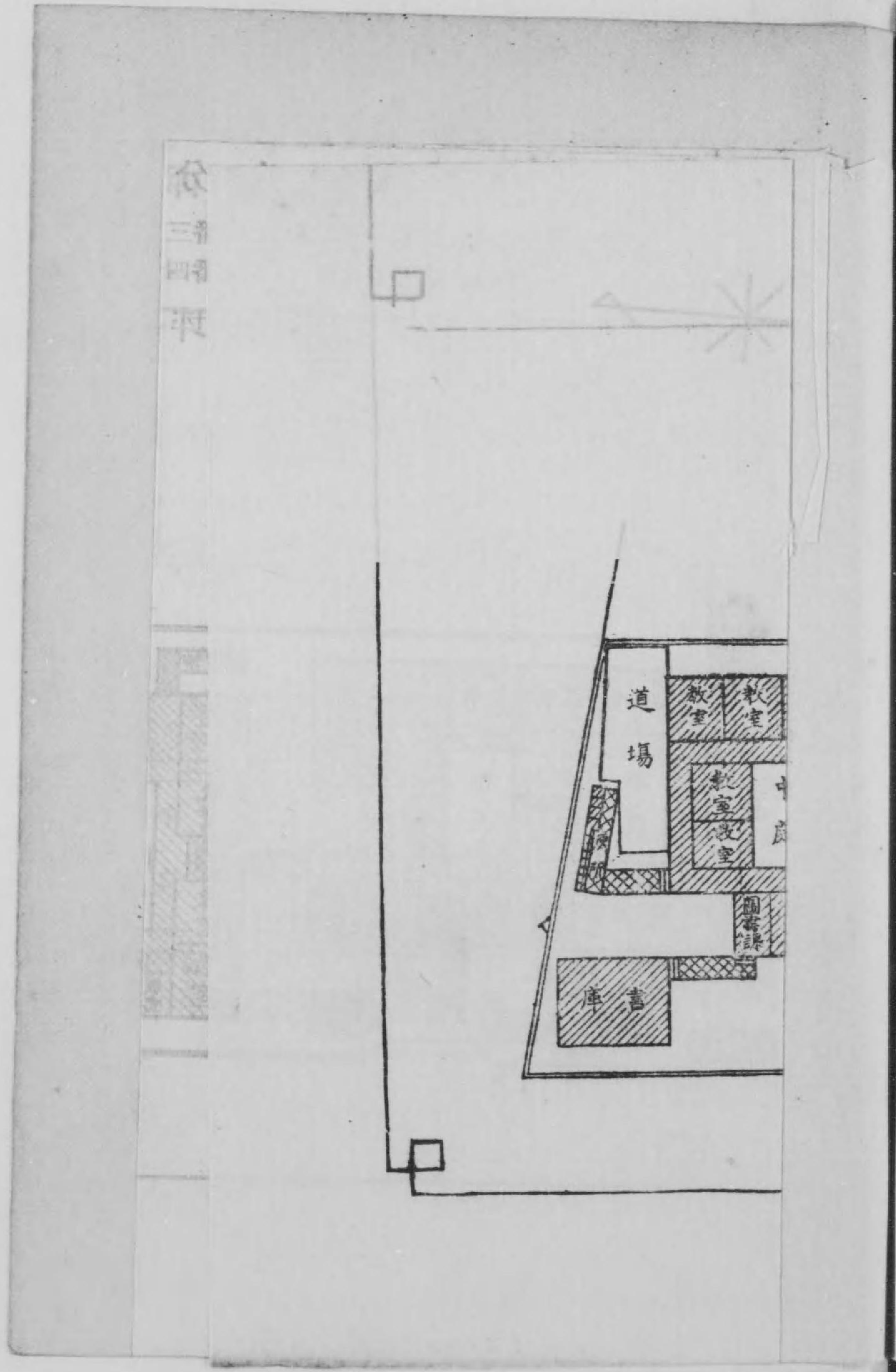
二、基本金ハ本會々員及其ノ他有志者ヨリ募集ス

三、基本金ノ寄附ハ一口金五圓也トス

但一人二口以上申込ムコトヲ得

四、基本金ノ寄附ハ一時拂込ミトス

但シ二ケ年四回ニ分チ拂込ムモ妨ゲ無シ

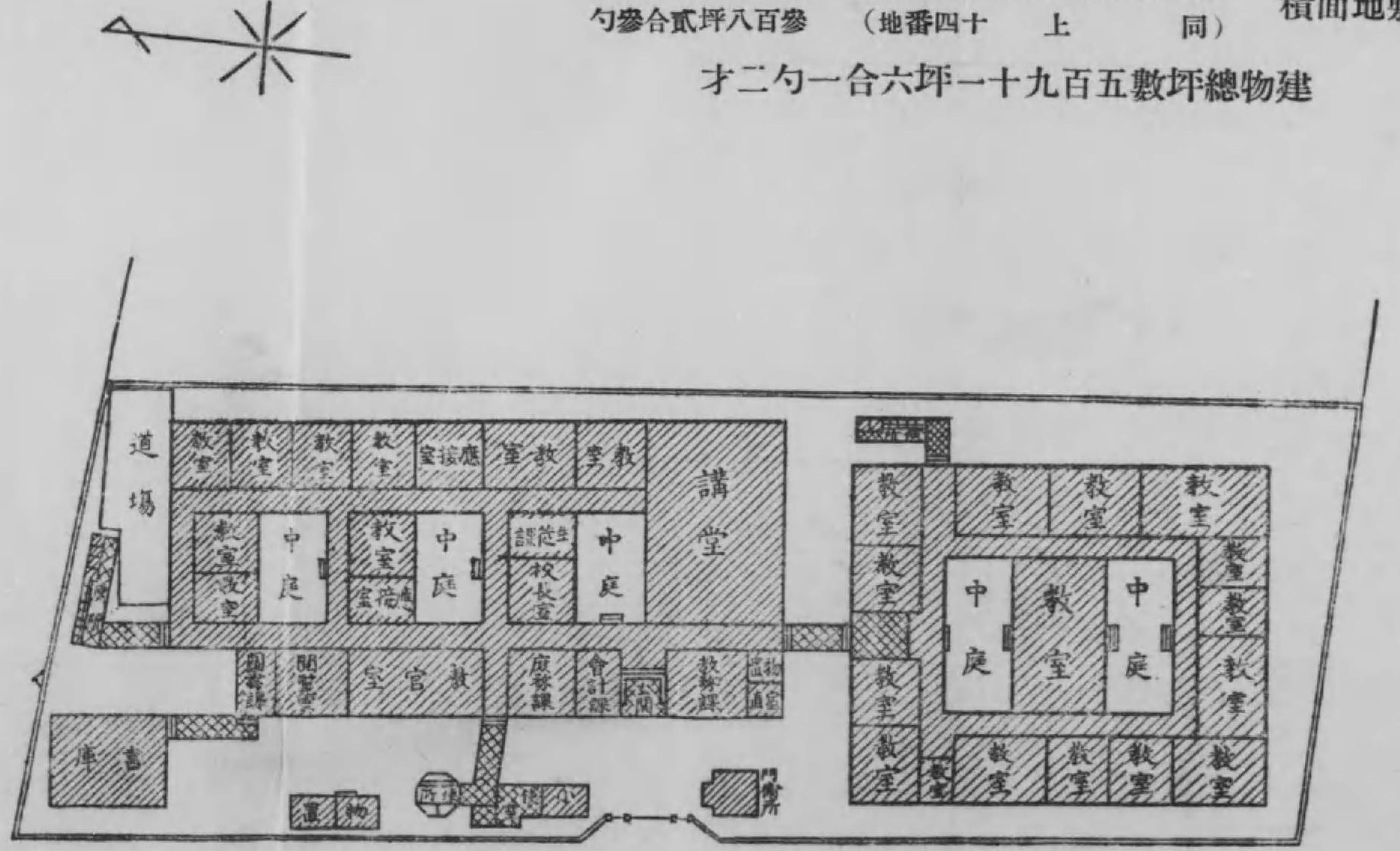

道場
教室
教室
教室
教室
書庫

東京外國語學校敷地并假校舍略圖

縮尺六百分之一

敷地面積 （神田區錦町三丁目十三番地）千七十九坪四合貳勺
（同　上　十四番地）參百八坪貳合參勺

建物總坪數五百九十一坪六合一勺二才



大正九年三月廿五日印刷
大正九年三月廿六日發行

東京外國語學校
電話神田一六番
同　神田一七番

印刷者　島連太郎
東京市神田區美土代町二丁目一番地

印刷所　三秀舍
東京市神田區美土代町二丁目一番地

9.5.1 5

293'
5
1

終